

上越高等学校・生徒と市長との対話集会
意見交換の内容

開催日：令和 7 年 7 月 24 日（木）

会 場：上越高等学校 4 階 視聴覚室

参加者：8 人

市長への提案・質問（子育て・若者・教育）

（生徒）

日本では「基本的人権の尊重」が保障されていますが、上越市ではそうした基本的人権を守る都市として、運営がきちんとされているのでしょうか。「人権都市宣言」を出していますが、人権に配慮した取組はされているのでしょうか。

また、小中学校では、どのような人権教育が行われているのでしょうか。

（市長）

上越市では「人権を尊び部落差別などあらゆる差別をなくし明るい上越市を築く条例」を制定しており、2008 年に「人権都市宣言」を行っています。昨年 2 月からは「パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度」を導入し、お互いを人生のパートナーとして協力し合うことを約束した 2 人が「パートナーシップ」を宣誓したことに対して、市が証明書を交付するという取組を行っています。

小中学校においては、同和問題やインターネット上での人権侵害、性の多様性などの人権課題について、児童生徒の発達段階に応じて計画的な人権教育、同和教育に取り組んでいますし、その指導の充実を図るため、市は教職員の皆さんに対して研修会を開催しています。

この人権に関する分野というのは、皆さんが直接目にすることは少ないかもしれませんが、そういった配慮をしていくということは、私たちとしても大切にしているところです。

（生徒）

ありがとうございました。

（生徒）

学校周辺の寺町地区は道が狭く、事故も多くて心配です。子育てをするにも、子どもの通学面で不安があります。他の地域もそうですが、住宅街を中心に、子どもが安心して通学できるような道路の整備をしてほしいと思っています。

（市長）

寺町ができたのはいつ頃だと思いますか。

**上越高等学校・生徒と市長との対話集会
意見交換の内容**

(生徒)

分らないです。

(市長)

江戸時代に高田城が築城されたときに、城下町の一番西側に寺院が連なる寺町が形成されました。ですので、昔からの町並みなんです。そういったエリアで、時代に合わせて少し道を広げたり、もともと無かった住宅が建つようになったりという経緯があります。

今、お話があったように、事故も多いということですので、通学路の対応については、地元町内と連携して出来るところから整備をしていますし、歩道整備も徐々に進めているところです。上越高校の周辺では、寺町1丁目地内の歩道築造工事や、寺町2丁目、昭和町1・2丁目地内の側溝改良工事などを行う予定です。

(生徒)

ありがとうございます。

(生徒)

起業したい高校生が集まるイベントが欲しいと思っています。上越市でも「起業家マインド養成事業」を行っているようですが、高校などにきちんと周知がされていないように感じます。もっと高校生に参加を呼びかけたらいかがでしょうか。

(市長)

「起業家マインド養成事業」は、市と日本政策金融公庫が連携し「上越未来創造プロジェクト」として実施しているもので、上越地域の高校生が集まり、ビジネスアイデアの発想などを通して、地域活性化について考えるイベントです。今年度は7月31日と8月22日に開催する予定で、各高校にチラシの配布などを行っています。このほか、市以外の団体でも、高校生が参加可能な起業・創業のイベントを計画されていますので、ぜひ皆さんからも参加していただきたいと思います。

会社を立ち上げて運営していくというのは、それ相応に経験や知識が必要となりますので、起業に向けて、どこでどのようにして必要なスキルなどを身に付けるかを考えることが一番大切だと思っています。

(生徒)

ありがとうございました。

(生徒)

上越市に若者を呼び込もうとしても、若者から積極的に移住してもらえるような、生活

**上越高等学校・生徒と市長との対話集会
意見交換の内容**

基盤となる施設や歓楽街、就職先などがなければ、結局若者の流入にはつながっていかないと思うのですが、どうお考えでしょうか。

（市長）

若者から移住してもらえるような、生活基盤となる施設や歓楽街というのは、例えば、こういったものを想像していらっしゃいますか。

（生徒）

例えば、上越市は海がすごくきれいですし、ビーチもたくさんあるので、その海の近くにいろいろなお店があって、若者が集まれるような楽しいまちのことです。

（市長）

海については、もう少し整備していかなければいけないと思っています。特に、この辺りだと長野県の皆さんがたくさん来ておられますし、これからのことと言うと、外国の方も含めて、どうやってこれまでに以上たくさんの人に来てもらうかということは考えていかなければいけないと思っています。

（生徒）

ありがとうございます。

（生徒）

学校設備についてなのですが、市立小中学校のトイレ手洗い場の自動水栓化は、どの程度進んでいるのでしょうか。現状を教えてください。

（市長）

新型コロナウイルス感染症への対策として、令和3年度に全ての小中学校でトイレ手洗い場の自動水洗化が完了しています。

（生徒）

ありがとうございます。

（生徒）

上越市の活性化のためにも、人口流出・人口減を食い止め、人口流入・人口増にすることが大切だと考えています。兵庫県明石市では、子育て世代が増えたことで、人口増につながっていると聞きました。中川市長の公約でも、「子育て全国一を目指す」、「保育料を県内で一番安くする」、「大学・専門学校の奨学金を給付する」などを掲げていました

上越高等学校・生徒と市長との対話集会 意見交換の内容

が、子育て世代への手厚い施策がどの程度実行され、その効果・成果はどの程度あったのでしょうか。また、今後、人口増加のために重点的に取り組んでいく施策は、どのようなものを考えているのでしょうか。

(市長)

現在、上越市の子育てについては、いろいろな政策を進めていまして、例えば 20 代、30 代の若い世代にお聞きすると、多くの皆さんから「上越市は比較的に子育てがしやすい」という声をいただいています。

例えばファミリーサポートセンター事業では、子どもの送り迎えや一時預かりのサポートを行っていますし、子育ての中で悩み事を抱え込まないように、出産前も含めて、相談できる窓口をたくさん設けています。また、子育てに関する NPO 法人の皆さんが活発に活動されていますので、そちらとの連携も進めているところですし、奨学金の返還支援制度など、若い人たちが独立するために必要な支援にも取り組んでいます。

私とすると、子育てをされている皆さんの悩みを解消できるように、今後もいろいろな政策をやっていかなければいけないと思っています。

(生徒)

ありがとうございます。

(生徒)

私は、人口を増やすためには、まずは上越市の人たちを外に出さないという視点も大切だと思っています。就職や進学で県外に行ってしまう若者に「上越市にいたい」と思ってもらうためには、春日山駅、直江津駅、高田駅の近くに、人が集うような施設を設けたほうがいいと思います。

例えば、私は時々、春日山駅の近くの春日謙信交流館を利用させていただくのですが、時間帯によっては利用者がたくさんいてうるさかったり、季節によってはたまにエアコンがついていなかったりして、勉強するとなると、別の場所を探さなければいけなくなってしまうことがあります。なので、駅などの人がたくさん集まる場所の近くに、そのような施設をもっと多く置いた方がいいと思うのですが、中川市長はどうお考えか教えていただきたいです。

(市長)

そのとおりだと思っています。

私も、中高生が自由に出入りできて、勉強ができて、無料で開放されているスペースというのは、もっとたくさんあった方がいいのではないかと考えていますので、これからも努力していきたいと思っています。

上越高等学校・生徒と市長との対話集会
意見交換の内容

(生徒)

ありがとうございます。

市長への提案・質問（観光・交通）

(生徒)

上越市立水族博物館 うみがたり周辺の開発があまり進んでいないように思います。近隣には無印良品などの施設もありますが、水族館と連動した観光・集客スポットになっているとは言いがたいです。水族館を拠点に、うみがたり周辺を上越特有の観光エリアに変えていくような開発計画はありませんか。海岸沿いがもっと栄えるような開発ができれば、観光地として潤うのではないのでしょうか。

(市長)

海沿いの開発が進んでいないというのは同感です。

上越市には海産物もたくさんありますので、そういったものを味わっていただいたり、買って帰っていただいたりするような場所というのを、集客力のあるうみがたりに近いところに作っていくことが必要なのかなと思っています。

令和6年4月に策定した「上越市通年観光計画」の中で、うみがたり周辺を「日本海海岸エリア」と位置づけ、今いろいろな社会実験を行っておりまして、直江津屋台会館やその周辺のところで、そういった顧客を取り込めるようなものを、これから開発していく必要があるのではないかと考えております。

直江津ショッピングセンターに無印良品さんも入っておられますし、直江津の皆さんも「うみまちアート」などいろいろと活発に取り組まれていますので、そういった方々と連携をしながら、開発をしていかなければいけないのではないかと考えております。

(生徒)

ありがとうございます。

(生徒)

私にとって最寄り駅の犀潟駅は、駅舎が国道側にしかなく、駐車スペースが少なく、交通量も多くて危ないので、利便性が低いです。南側にも改札口ができると、小中学生や私たち高校生が安全に駅を利用できると思います。

(市長)

犀潟駅というのはJR 東日本が管轄しています。以前、南口の設置についてJR 東日本新潟支社と協議を行ったことがあるのですが、いずれの案も多額の費用が見込まれるということで、「JR が事業主体となって整備を行う考えはない」との回答を受けた経緯がありま

**上越高等学校・生徒と市長との対話集会
意見交換の内容**

す。ちなみに、JR 黒井駅に南口を開設した際は、自由通路、駅前広場、駐車場などの周辺整備を含め、約 12 億円の費用がかかっています。

いずれにしても、犀潟駅の南口を整備するのであれば、その費用を誰が負担していくのかということになると思います。

(生徒)

ありがとうございます。

(生徒)

「頸城交通のバスは、IC カードが利用できなくて不便だ」という声を聞きました。上越市でも、バス会社への補助や助成が必要ではありませんか。

(市長)

今、例えば佐渡で金山が世界遺産に登録され、妙高市の方では海外資本によるスキー場開発の話もありますので、インバウンドの観光客は今後増加する傾向にあると見込んでいます。ですので、やはりキャッシュレス化をしていかないと対応できないだろうというのが、上越市をはじめ関係者の間での共通認識です。

今年度、頸城自動車では、実際に観光利用が期待される、上越妙高駅と直江津港とを結ぶ「佐渡汽船連絡バス」を対象にキャッシュレス決済を導入することとしており、市ではこれを補助することになっています。

現時点では、「Suica」や「PASMO」などの交通系 IC カードの導入予定はありませんが、クレジットカードであるとか、QR コードであるとか、いろいろなキャッシュレス決済の選択肢がありますので、外国人にとっても日本人にとっても使いやすいものを、できるだけ民間事業者の皆さんから取り入れていただくような働きかけというのは、これからもやっていかなければいけないと思っています。

(生徒)

ありがとうございます。

(生徒)

私は小学 1 年生の頃から電車を使って通学しているのですが、特に駅の周辺に施設を増やしたほうがいいと思っています。高田エリアの学校に通う高校生は、高田駅を一番多く使うと思うのですが、その辺りに、興行施設や観光施設など、高校生がよく使用するような施設をたくさん設置したほうがいいと思うのですが、市長はどのようなお考えでしょうか。

上越高等学校・生徒と市長との対話集会
意見交換の内容

（市長）

先ほどの質問と重なりますが、高田駅もありますし、南高田駅もありますが、そういったところに高校生が集いやすい場所を作っていきたいという気持ちはあります。あとはお金の問題になってくるのかなと思っています。

（生徒）

ありがとうございます。

（生徒）

高田駅の近くにある「あすとぴあ高田」の1階部分に、以前は薬局などが入っていたのですが、今はケーキ屋さんが1つだけ入っている状態なので、そこに書店だったり、学生が勉強したりできる環境を作っていただきたいと思うのですが、中川市長はどう思っていますか。

（市長）

「あすとぴあ高田」については、「中心市街地の活性化」ということで、施設整備を行ったときに行政から補助金が出ていますが、基本的に民間が運営しているところです。かつてはスーパーマーケットが入っていたり、いろいろなテナントが入っていたのですが、紆余曲折があって、現在の状況となっています。

あと、書店というのは、今の社会的な流れだと思うのですが、だんだん減りつつあります。スマートフォンやタブレットで本や文字を読む方が増えていまして、そういった時代の流れの中で、書店が成り立つのもなかなか難しくなっています。それでも「書店は大切だよ」と言って運動している方々もいますし、私もできれば紙の本で読みたい方ですので、できるだけそういうところが増えるように、働きかけをしたいとは思っています。

いずれにしても、空き店舗にどうやって店を入れていくかというのは、上越市全体の課題です。

（生徒）

分かりました。ありがとうございました。

（生徒）

私は電車を使って通学していて、現状では30分に1本とか、時間帯によっては1時間に1本とかの間隔でしか電車が走っていない状況なのですが、高校のテスト期間が何校も重なると、特定の便が大変込み合ってしまう状況にあり、場合によっては乗車できない場合もあります。電車の本数を増やすという案は、現在考えていますでしょうか。

上越高等学校・生徒と市長との対話集会
意見交換の内容

（市長）

今お聞きしたことは鉄道事業者にも伝えさせていただきたいと思いますし、市としても、市民の重要な交通の便というのはこれからも支えていかなければいけないと考えていますが、今、人口がどんどん減って、乗降客もどんどん減っている状況です。鉄道事業者の経営状況も大変厳しい中ですので、電車の本数を増やすというのはなかなか難しいのかなとは思っています。

（生徒）

ありがとうございます。

（生徒）

来年度のNHK朝の連続テレビ小説「風、薫る」の主人公が知命堂病院と関わっていて、聖地巡礼とかも期待できますが、現状では観光地として売り出すことが難しいのではないかと思います。周りに歴史的な建物等があり、あまりスペースがないと思いますが、高田駅周辺の観光地と合わせて、どのような整備を考えていますか。

また、近年、外国人観光客は増えていますが、日本人観光客の需要が少ないように感じます。高田の町並みなどをもっとアピールして売り出す必要があるのではないのでしょうか。

（市長）

外国人観光客が増えているのは間違いないことです。高田の町並みなどをもっとアピールするというのは、まさしくそのとおりでして、外国人観光客もそうですし、日本人観光客もそうなのですが、この土地の歴史とか文化とか、そういうものを特徴づけた場所をきちっと整備していれば、観光客は来るというのは、間違いないと思っています。

来年、知名堂病院で看護師をされていた大関和さん^{おおぜきちか}をモチーフにして朝の連続テレビ小説が描かれるわけですが、私達とすると、できるだけこの上越の地で撮影をしていただきたいと思いますし、そういったこともNHKの方に伝えていかなければいけないと思っています。やはり特徴的なのは雁木町家であり、撮影できる場所もいくつかあるのではないかと思いますので、できるだけ撮影スポットにさせていただいて、上越市に多くの皆さんから来ていただくような機会というのを作っていきたいと思っていますし、雁木町家というのは、これからもさらに景観保全をして魅力を深めていかなければいけない、非常に大切な上越市の地域資源だと思っています。

（生徒）

ありがとうございます。

上越高等学校・生徒と市長との対話集会
意見交換の内容

市長への提案・質問（多文化共生）

（生徒）

上越市でも外国人が増えてきていますが、外国人と地元住民が共存していくために、異文化交流の大々的なイベントを設けることはできないでしょうか。

（市長）

今、特に頸城区には外国の方が多く居住されていて、そういった方々も地元の方と一緒にイベント等に参加していると聞いています。もちろんそういったイベントや異文化交流というのは、これからもやっていくべきものだと思いますし、私たちとしては、できれば上越市に定着していただきたいと思っています。そのためには、地元住民の皆さんにも、寛容な心で、広い心で、そういった方々を受け入れていただくことが大切なのかなと思っています。

（生徒）

ありがとうございます。

（生徒）

高田の祇園祭では、JOIN（上越国際交流協会）に関わる外国人の方々が、浴衣を着て民踊流しを踊ったりしています。私は、そういう大きなイベントにもっと外国人から参加してほしいと思っているのですが、市長はそれについてどう考えていますか。

（市長）

例えば、頸城区にお住まいの方々が、こういった移動手段を持っているかということも関係してきます。まずは、地元の頸城区のお祭りに参加していただいて、その他の直江津・春日山・高田等のイベントについては、無理やりではなく、自分たちで参加していただくという形になるかと思います。

（生徒）

ありがとうございます。

（生徒）

海外出身の方で上越市内で就職している人がいますが、言語の壁で苦しんでいる人は少なくありません。言語のサポートとして、日本語教室や日本語ボランティアなどをもっと充実させてほしいのですが、市長はどのような対策を考えているのか具体的に教えてほしいです。

**上越高等学校・生徒と市長との対話集会
意見交換の内容**

（市長）

私たちの取組としては、どなたでも分かりやすい日本語をもっと使っていこうということで、「やさしい日本語」の普及を図っていきたいと考えています。また、外国にルーツのある中学校生徒への学習支援についても取り組んでいるところです。

こういった取組については、現在、JOIN（上越国際交流協会）など多くのボランティアの方から関わっていただいております、市としても支援体制を充実させていかなくてはと思っています。

今後、外国から来られる方が減ることはないと思っていますので、先進的な群馬県の太田市や伊勢崎市の取組なども参考にしていきたいと思っています。

（生徒）

ありがとうございます。

（生徒）

実際、私の母が20年前に海外から日本に来たとき、車の運転免許も何も持っていなくて、言葉も分からなくて、バスの乗り方も分からなくて、とても困ったという話を聞いています。そういう人は現在も少なからずいると思いますので、そういう人たちのためにバスの乗り方を教えるなど、支援はできないですか。

（市長）

今、翻訳アプリの質も高くなっていますし、そういった機能を使えば比較的生活しやすくなってきているのは間違いないと思いますが、この間の観桜会でも、外国人の方が、上越妙高駅に着いてもどこに行ったらいいか分からないし、タクシーも乗れないし、バスも乗れなかったというようなお声もいろいろと聞いていますので、そういったことをできるだけ解決できるように、外国人支援の仕組みというのは作っていかなければいけないと思っています。

（生徒）

ありがとうございます。

（生徒）

私は、この8月に市の海外ホームステイ交流事業で韓国の浦項市に行く予定です。海外でホームステイをする場合にまず問題になってくるのが費用の関係だと思うのですが、今回は3泊4日の行程を1人約6万円の負担で参加できるということで、破格な条件だと思っています。

若い世代が海外に行って経験を積むことはとても大事なことで感じているので、浦項

上越高等学校・生徒と市長との対話集会 意見交換の内容

市のほかにも、市でもっと短期間留学を計画したり、金銭面をサポートしてもらえるとありがたいと思うのですが、どのようにお考えですか。

（市長）

若いうちから国際的な感覚を持つということは、私も大切なことだと思っています。外国に行くにはものすごくお金がかかりますので、どこまで支援ができるかは分かりませんが、若い人たちがそういうことにチャレンジできるような事業というのは、これからも積極的にやっていかなければいけないのではないかと考えています。

（生徒）

ありがとうございます。

（生徒）

現在、市内ではフィリピン、ベトナムなどの東南アジアや、バングラデシュ、ネパールなどの南アジアからの方々が aumentando いると思うのですが、海外からいらっしゃる方は信仰心がすごく強いです。

フィリピン人の友達がカトリックを信仰していて、結構教会に行ったりしているのですが、上越市には教会が数えられるほどしかなくて、移動時間も結構長くなってしまうと聞いています。ですので、教会とか、そういう信仰できる場所を増やしてほしいと考えています。また、バングラデシュとかネパールの出身で、イスラム教の方もいると思うので、そういった方々が信仰できる施設を設けてほしいと考えています。市長はそれについてどう考えていますか。

（市長）

日本では「政教分離」といって、政治の立場で宗教に関わることはできません。ですので、教会を作るとか、モスクを作るということ自体、私たちはできないんです。そこに補助することもできないので、ご理解いただきたいと思います。

ただ、例えば、イスラム教の皆さんにはハラールというのがあって、豚が食べられない、アルコールが飲めないといった規律がありますが、私たちとしては「それに対応した店を増やしていきましょう」とか、住みやすい環境を整えていくことはできると思います。他国の食べ物とか文化について私たちも学んで、それに対応するということは、これからもっとやっていかなければいけないと思っています。

（生徒）

ありがとうございます。

上越高等学校・生徒と市長との対話集会
意見交換の内容

市長への提案・質問（その他）

（生徒）

春日山駅はいまだにプレハブ小屋になっていると思うのですが、市役所の最寄り駅ですし、春日山城跡や林泉寺の最寄り駅でもあるので、もっと立派にして、観光客を呼び寄せたり、観光がしやすいようにするのはどうでしょうか。

（市長）

全くそのとおりで、春日山駅は仕様を変えなければいけないのではないかと考えています。駅舎は基本的にはえちごトキめき鉄道の管轄ですが、トキめき鉄道さんも観光でもお客さんを増やしたいというところもあると思いますから、そのあたりは、通年観光計画の中で、春日山城跡と上杉謙信公等の関係でいろいろなところの改修をしていこうという話もありますので、私自身も春日山駅は変えなければいけないなという意見は出しています。

ですので、場合によっては、ボランティアで端材を持ってきて、木を張りつけていくとか、デザインするとかということがあってもいいのではないかと考えていますので、ぜひそういうことをやりたいと思われるのであれば声をかけさせていただきますので、よろしくお願いします。

（生徒）

面白い意見をありがとうございます。

（生徒）

今、市長が「端材とかを使って春日山駅を新しくする」ということをおっしゃいましたが、私は毎朝春日山駅から電車に乗って通学していて、春日山駅は、冬になると雪が積もってどこが階段なのか分からなくて滑ってしまうとか、入口の横側の隙間が空いていて雨風が入ってきやすいとか、待合室が狭くて5、6人ぐらいしか座れないとか、毎朝残念に思っています。春日山駅を新しくするなら、結構本格的にやらなければいけないと思うのですが、その辺についてはどう思っていますか。

（市長）

春日山駅はトキめき鉄道の管轄だと言いましたが、かといって、春日山城跡と上杉謙信公のことを皆さんにお知らせして、多くの皆さんに来てもらおうとした時に、春日山駅が今の状態で良いとは思っていません。やはり訪れた人が「この駅に来てよかったね」と言ってもらえるような環境にしなければいけないと思っています。そのためのアイデアを是非出していただければと思っています。よろしくお願いします。

上越高等学校・生徒と市長との対話集会
意見交換の内容

(生徒)

ありがとうございます。

(生徒)

私は最寄り駅が土底浜駅という駅で、2つ隣の上下浜駅もそうなのですが、待合室もない状況で、夏は暑いし、冬は寒いし、ホームの上に屋根すらない状況です。春日山駅など利用者が多い駅を優先すべきとも思うのですが、少し考えていただけないでしょうか。

(市長)

犀潟駅の話もありましたが、土底浜駅も JR 東日本の管轄になります。鉄道事業者にこういう意見が出ているということは伝えることはできるのですが、費用面のことも考えると、厳しい答えが返ってくるのではないかなと思います。

ですので、地域とか市の方でどうするのかということを考えて、自分たちでやるしかないのではないかと考えています。

(生徒)

ありがとうございます。